

平成25年度

理事会（第1回）

議事録

平成25年4月27日（土）

山口県介護支援専門員協会

平成25年度 山口県介護支援専門員協会 理事会
議事録

1 日 時

平成25年4月27日（土） 午後1時30分から午後4時まで

2 会 場

山口県セミナーパーク 研修室201

3 出席者

(1) 理事

定数 31名

出席者数 28名（うち委任状出席7名）

出席者名

佐々木啓太	藤本邦和	橘 康彦	木村友和	松谷法史
山本史彦	林 浩二	頃未能宏	阿部頼江	堀田慎一郎
渡邊康浩	松井康博	藤本真樹	福井治枝	鬼木泰子
関永里美	河本好英	岩神亜紀	松井清之	末富琢馬
板垣智子				

委任状出席者

横山具寛	岩本裕子	内山由紀	田村則子	三井栄三
守田由起子	山本太郎			

(2) 監事

定数 2名

出席者数 1名

出席者名

二井隆一

(3) 顧問

定数 1名

出席者数 0名

(4) 事務局 福祉人材研修部 主任主事 木村考利 職員 福本かおる

4 報告事項

(1) 各部会からの報告（次年度計画を中心に）

(2) 平成25年度事業計画（案）について

(3) 平成25年度事収支予算（案）について

5 上程議案

第1号議案 平成24年度事業報告について

第2号議案 平成24年度決算報告について

第3号議案 第10回山口県ケアマネジメント研究大会について

第4号議案 日本介護支援専門員協会代議員について

第5号議案 事務局機能について

6 審議の経過

松谷理事

本日の理事会議事録署名人の選出について、次の理事を指名し、両名の承諾を得た。

阿部頼江

福井治枝

佐々木会長挨拶の後、各部会から次年度計画を中心に報告をいただく。

- 岩神理事 生涯研修部より今年度の研修計画についてスケジュールに日程が入っているものについては決定している。ストレスケアマネジメント研修会、高次脳機能障害研修会、通所サービス事業所がケアマネに求めるもの研修会の要項を新たに作成しており、日程、講師等の調整を行った。通所サービス研修については5月末までに助成金がとれるよう県厚政課に申請し、助成金が取れば参加費無料で開催出来る見込である。デイサービス協議会と協力しながら進めていく。講義内容のパネルディスカッションについて理事の方へパネラーのお願いをしていく。
- 佐々木会長 調査研究部より協会に求められていることとして、要望等を整理する。医師会作成のケアマネタイムの活用状況を調査し、活用について医師会に意見提言していく。
- 松井理事 社会資源情報を会員へ提供することについて、ホームページでお役立ち情報としてリンクを貼っている。リンクを行政のトップページに貼っているので社会資源情報の掲載場所等の補足説明を詳しく入れていく。
会員が悩んでいることを収集し、意見提言をすることについて広報誌でアンケート結果を載せている。いただいたデータを活かす方法について検討していく。
災害対策について、大雨、土砂崩れ等に対応した机上訓練を周南で行った。協会と他機関との協力体制、仕組み作りを考える機会になった。規模を広げて県内2箇所で開催の実施を考えている。日本協会のマニュアルをどのように活用するか検討、伝達していく。
- 堀田理事 広報誌の発行について年2回8月、3月に発行予定。広報部員で取材した記事を掲載予定。
メーリングリストについて具体的に進んでないが検討している。ホームページへ求人募集、書籍情報、薬の情報コーナー等のコンテンツを増やしていく。趣味のコーナーとして広報部岩本理事より山登りの企画があり、5月25日に鳳翻山に登る予定。レクリエーション保険の加入が必要なため人数、名簿の作成が必要になる。
- 藤本事務局長 書籍の情報について中央法規に確認し、会員限定で書籍が購入できるコンテンツを作成予定。申込書のやり取り等について検討していく。
- 佐々木会長 サイトについて費用がかからない業者を探しお願いしていく。
岩本理事よりいただいた山登りの企画詳細をホームページに掲載する。参加者はレク保険に加入していただく。
- 松谷理事 組織総務部は午前中に部会を開催した。会員全員が負担にならないよう楽しめる企画について、昨年2か所で行われた福祉祭りに参加、出店、地域の方へ広報活動を行った。研究大会の際、売上金で抽選会を行い、大会を盛り上げていく。

会員を対象にホームページでも抽選会を行い、研究大会で抽選、発表する。研修参加費の免除についても検討していく。

- 岩神理事 5月の実務事務研修について定員30名に対し申込みが90名を超えているので会場を90人部屋に変更し開催する。ホームページは申込み締切りにしている。
- 松谷理事 続いて平成25年度事業計画（案）について説明いただく。
- 佐々木会長 平成25年度事業計画（案）について説明。
今年度会費の値上げを行い、会員数が現在上がってきているが現状維持できている。組織力を強化する活動を行い、法人化を検討していく。研修相互乗入れとして広島、島根と協力体制を作る。今回表彰規定を設けている。広島県に習いケアマネマイスター制度等検討していく。事務局長に確認し、会費的に安定しているので理事会を5回、地域と顔の見える関係を図るため代表者会議を2回開催に変更する。1回は交流会を含めた会議にしていきたい。
- 松谷理事 続いて平成25年度事収支予算（案）について藤本事務局長から説明いただく。
- 藤本事務局長 平成25年度事収支予算（案）について説明。
- 松谷理事 続いて第1号議案平成24年度事業報告について、第2号議案平成24年度決算報告について説明をいただく。
- 事務局 平成24年度事業報告、平成24年度決算報告について説明。
- 松谷理事 質疑を求めたが特にないため、監査報告について二井監事に説明を求めた。
- 二井監事 4月15日に監査を行い、会計について事業報告書、収支決算書、貸借対照表、財産目録について正しく示され、不正の点はないと認める。
- 松谷理事 第1号議案平成24年度事業報告について、第2号議案平成24年度決算報告について併せて質疑を求めたが特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く承認された。
- 松谷理事 続いて第3号議案第10回山口県ケアマネジメント研究大会について、11月2日セミナーパーク講堂で9時15分から受付、9時45分開会。広島県落久保先生から認知症について基調講演をいただく。テーマ「認知症の方を支えるために介護支援専門員としてできること～いつ学ぶの？今でしょ～」に決定。研究発表予定地域について山陽小野田、萩、山口、柳井、下松よりテーマに沿った発表を1題ずつお願いする。6月に研究発表募集の呼びかけを行う。開催要項について8月を目途に発送を行うので、プログラムに研究発表のテーマを記載できるよう発表地域の方から7月中旬までにお題、サブテーマを連絡してもらおう。

- 佐々木会長 研究大会で永年表彰式を行う。
- 岩 神 理 事 研究発表予定地域について地域事務局へ連絡はあるのか。
- 事 務 局 地域事務局へ募集要項と併せて連絡する。
- 松 谷 理 事 続いて第4号議案日本介護支援専門員協会代議員について説明をいただく。
- 佐々木会長 日本協会の代議員について会員 500 名に対し定数 1 名となっているので前年度に続き当会からは定数 3 名になる。
- 橘 副 会 長 会員に向けて代議員選挙のお知らせ、投票についてのハガキが送られており、前年度から web 選挙になっている。各自でホームページへアクセスとなり、アクセスしてからの手続きが複雑なため、投票率が 2.4%と低い結果となった。当会会員がどの程度投票したかも関わってくるので投票開始日の5月22日までにホームページにアクセス出来るようご協力いただく。
- 佐々木会長 日本協会のホームページにログインし、選挙用の ID でログインする形になっており、時間がくるとログアウトになるのでシステムについても意見を上げている。服部氏が今年度選挙管理委員長をされており、選挙の投票率を上げていきたいので地域の方にご協力をお願いします。正会員 3 名以上の推薦があれば立候補できるが、日本協会へ県から意見提言していくため、会員数の多い地域に事前に打診している。西部地域から松谷理事、中央は会長、東部から木村副会長に立候補いただく。
- 橘 副 会 長 代議員選挙後に全国選出理事選挙、会長候補者理事選挙が公示されている。全国選出理事選挙は日本協会の常任理事になる候補者を選定するもので定員が全国で 10 名になる。代議員選挙で選ばれた候補者が 6 月の社員総会で会長候補者選挙、全国選出理事選挙の投票をする。臨時理事会で会長、副会長が決定になる。代議員の総数が 76 名なので会長候補を決める代議員 1 票が重要になってくる。
- 松 谷 理 事 第4号議案 日本介護支援専門員協会代議員について質疑を求めたが特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く承認された。
- 松 谷 理 事 続いて第5号議案 事務局機能について説明をいただく。
- 佐々木会長 理事会、常任理事会で事務局委託について検討し、公募を行ったが依頼がない状況である。現状を考える中で平成 25 年度は引き続き県社協へお願いします。法人化を視野に入れていくことも含め、今後については考えていく。事務局の公募については昨年度で打ち切っているので次年度公募という話があれば検討していく。
- 松 谷 理 事 第5号議案 事務局機能について質疑を求めたが特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く承認された。

- 松谷理事 その他、賛助会員規程、表彰規定について説明をいただく。
- 佐々木会長 表彰規定について対象者が何名いるか不明な点もあり、介護支援専門員として10年以上業務に精勤し、本会加入期間が10年以上の方について表彰を行う内容にしている。自己申告になり、地域事務局に推薦していただく内容になり、地域事務局の負担になるので常任理事会では自己申告で県協会へ直接申し込むのでよいとの意見も出ている。
- 藤本事務局長 本会加入歴について県社協に委託した年度からの名簿でしか確認できない。
- 松谷理事 加入歴は継続でなくてもよいのか。
- 藤本事務局長 加入歴等たたき台の段階なので意見を伺って変更になってくる。
- 末富理事 必要書類を出す時に、確認ができないのであれば本会加入歴が10年以上と規約に盛り込むのはいかがなものか。勤続年数については就労証明書等を提出にすれば人数も減るのではないのか。
- 松谷理事 会員名簿は何年まで遡って確認できるのか。
- 事務局 県社協へ委託した平成17年度からは確認できる。
- 鬼木理事 ケアマネジメント研究大会で表彰すれば、地域協会へ入会率もあがるのでたくさん表彰者が出てよいのではないのか。平成17年度以降に会員であることが確認できればよいのではないのか。
- 岩神理事 確認ができることが条件であれば申込みをいただいた方全員をチェックするのか。名簿漏れ等があるのではないのか。
- 橘副会長 名簿漏れがないよう確認出来る年度内で全員確認していく。
- 佐々木会長 副賞として協会名入りのボールペン等を考えている。
地域事務局の確認、推薦について意見を伺う。
- 藤本事務局長 地域が受付窓口で、県協会チェックするのでよいのではないのか。
- 佐々木会長 地域事務局を受付窓口にし、推薦を省く。地域事務局で受付印等を押していただき、県が会員か確認する。加入期間は5年に修正する。
- 事務局 平成16年度から名簿はあるが情報が統一されていないので検索が難しい。日本協会へ名簿を提出した年度から情報が詳しくなっている。
- 橘副会長 平成20年度から24年度の5年間で名簿検索を行い、継続加入に変更する。

- 佐々木会長 表彰規定について名簿確認のシミュレーションを行い、内容について精査し、代議員総会でも諮るので理事へメールで確認していただく。
賛助会員規程についても内容を確認いただき、意見についてはメールで連絡いただく。
- 日本協会の木村会長が今年の夏に参議院選挙に立候補されることになり、日本介護支援専門員連盟より県協会宛に推薦依頼が届いている。
- 橘副会長 日本介護支援専門員協会からの推薦はしていないのに連盟から推薦依頼が届いている。当会は推薦規定がなく、政治連盟がないので会として推薦することについて意見を伺う。
- 松谷理事 三層構造を守るのであれば、日本協会を超えて話が来ていることについてどうなのか。
- 橘副会長 連盟より名刺、ポスター等も送られてきているので、他県と情報交換をするが、推薦については県協会宛に届いている。
- 佐々木会長 会として推薦はできないが、個人の有志等で応援をする形で回答する。

と き 午後4時00分

この議事録の内容が正確であることを証するため、署名捺印する。

平成25年4月27日

山口県介護支援専門員協会

議 長 _____ 印

署名人 _____ 印

署名人 _____ 印